

## I 緩和ケアチーム依頼件数（平成27年度総依頼件数 54件）

①疼痛緩和②疼痛以外の症状③精神症状④家族ケア⑤その他

平成27年 12月新規依頼件数:7件

No	依頼日～終了日	訪問回数	診療科	患者背景	診断名と依頼内容	転帰
321	12月1日	1	消化器内科外来	70代男性	HCC④	
322	12月9日～12月30日	4	7A泌尿器科	80代女性	膀胱がん①	死亡
323	12月10日～1月21日	12	7A消化器内科	70代男性	HCC④	死亡
324	12月11日～継続中	6	4B耳鼻科	60代女性	喉頭がん①③④	
325	12月18日～継続中	7	6B呼吸器内科	60代男性	肺がん①	
326	12月22日～継続中	4	7A泌尿器科	80代男性	右腎がん③	
327	12月14日～継続中	4	泌尿器科外来	80代女性	膀胱がん①	

平成28年1月新規依頼件数:8件

328	1月6日～継続中	6	6A循環器内科	90代女性	ASO①	
329	1月11日～1月12日	1	4B耳鼻科	60代女性	上咽頭がん①	終了
330	1月12日～継続中	3	6B-4A呼吸器内科	60代女性	肺がん①③	
331	1月13日～継続中	3	7B血液・腎内科	70代女性	骨髄異形成症候群③	
332	1月19日～継続中	2	7A泌尿器科	70代男性	前立腺がん①②	
333	1月19日～1月22日	1	5B産婦人科	60代女性	卵巣がん②	死亡
334	1月25日～継続中	2	7B血液・腎内科	60代女性	脊髄小脳変性症、悪性リンパ腫③	
335	1月28日～継続中	1	7A泌尿器科	80代男性	膀胱がん①	

## II 緩和ケアに関する相談記録（緩和ケアセンター）

1月31日現在

平成27年12月相談件数:5件、平成28年1月:0件

12月の相談の方は、2名が緩和ケアチームへの依頼となっています。

### お知らせ

2月2日今年度第3回の緩和ケア勉強会が開催されました。

51名の参加がありました。(医師3名、薬剤師5名、臨床検査技師1名、看護師39名、事務1名、看護補助者1名、リハビリ1名)お忙しい中、参加していただきありがとうございました。アンケートのご意見から  
・せん妄にも早期発見があり、今後の観察に役立つ。  
・せん妄は退院では改善されない、治療が必要とわかった。

平成27年度 第3回 緩和ケア勉強会 (通算14回)

**精神症状と緩和ケア**

(講師) 精神科診療部長 齊藤 英知 先生

日時: 2月2日(火) 17:15～18:00

場所: 2階講堂 職種: 医療職

※希望者向けアンケートも実施しております。

主催: 緩和医療委員会



今年度の緩和ケアチームの活動報告を3月17日(木)17時15分～17時45分に予定します。事例報告も含めて行います。よろしくお願いたします。

平成27年度 第4回 緩和ケア勉強会 (通算15回)

**緩和ケアチームの活動報告**

平成28年 日時: 3月17日(木) 17:15～17:45

場所: 2階講堂 職種: 医療職

主催: 緩和医療委員会



がん性疼痛に対しアセトアミノフェン(カロナール)を内服処方される場合があります。今まで注射薬はありませんでしたが、このたび新たに採用された



**アセリオ静注液1000mg (1バイアル100mL)**を紹介いたします。

適応は<成人における疼痛>

通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300～1000mgを**15分かけて静脈内投与**し投与間隔は4～6時間以上とする。

なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として4000mgを限度とする。

ただし、体重50kg未満の成人にはアセトアミノフェンとして、体重1kgあたり1回15mgを上限として静脈内投与し、投与間隔は4～6時間以上とする。1日総量として60mg/kgを限度とする。

使用の際は、点滴の落下速度にご注意ください。